

ツバメがやってきた！



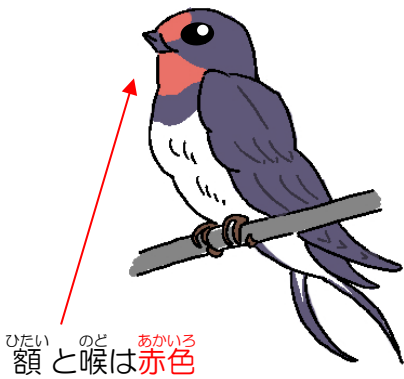
はる 春になり、ツバメが街中で見られる季節になりました。東南アジアから日本に渡ってくるツバメは、古くから人にとってなじみの深い鳥。田んぼや畑の害虫を食べてくれるツバメは「益鳥」とされているだけでなく、家の軒下に巣をつくるツバメは、雷や火事から家を守ってくれる縁起の良い鳥と信じられてきました。今回はそんなツバメについて紹介します。



▲軒下で巣を作るツバメ

兵庫県で観察できるツバメ3種

ツバメ



ひたいのどと喉は赤色

はる 春、民家や商店等の軒下に、泥と枯れ葉でできたおわん状の巣を作ります。飛行中に急旋回してハエ等の小型昆虫を捕まえるのが得意です。秋になると、寒さをしのぐため日本を離れ、東南アジアに旅立ちます。

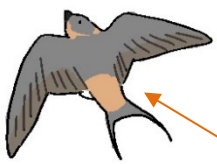


こしいろくろい 腰の色は黒い

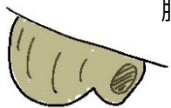


す 巣

コシアカツバメ

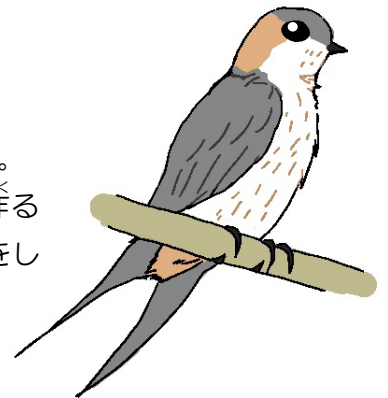


こしいろあかちやいろい 腰の色は赤茶色



す 巣

かんとう 関東より南の地域でよく見られるツバメです。腰の赤茶色とお腹の筋の模様が特徴。軒下に作る巣は、泥でつくられた、とっくりのような形をしています。



イワツバメ



あし ゆびさき しろ うもろう 足の指先まで白い羽毛

ツバメやコシアカツバメよりも小型のツバメで、ツバメの特徴である尾も短いです。山地や海岸の崖、大きな建物の壁などにつくる泥状の巣は、出入り口が小さくツボのような形をしています。



こしいろしろい 腰の色は白い



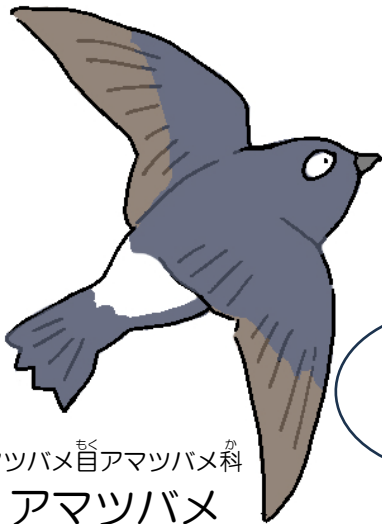
す 巣

ツバメがやってきた！

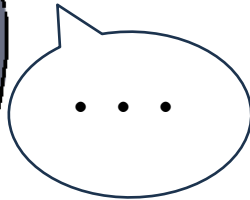


アマツバメとイワツバメの^{かんけい}関係

ツバメで
言えない
ないなんて...



アマツバメ^{きん}目アマツバメ科
アマツバメ



アマツバメさんって
ほく^{しんせき}
僕の親戚だよね？



スズメ^{きん}目ツバメ科
イワツバメ

イワツバメによく似ている**アマツバメ**という鳥を知っていますか？中華料理の高級食材になる「ツバメの巣」のツバメといった方がわかるかもしれませんが。アマツバメは、ツバメと名前がついていますが、分類上はツバメとはまったく違うグループの鳥。ツバメもアマツバメも空中で飛びながら小型昆虫を食べ、長時間空中にいる等、生活環境や生活様式が似ているため、環境に適した姿へと互いに進化を遂げた結果、どちらも似たような姿になったと考えられています。このように、別のグループの生きもの同士であっても、生活環境に適した形へと進化を遂げる過程で、姿や形が似てくることを、生物用語で「収斂（しゅうれん）**進化**」と言います。

しゅうれんしんか^{れい} 収斂進化の例

ほにゅうるい
哺乳類のモグラ



て^{かたち}
手の形がそっくり

こんちゅう
昆虫のオケラ



なかも
カニの仲間
マツバガニ



なかも
ヤドカニの仲間
タラバガニ



かたち
形がそっくり

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148

竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

